

2023年8月23日

横浜ゴムの「GEOLANDAR」装着車がアジアクロスカントリーラリーで 2年連続の総合優勝を達成、1位～3位までを独占

横浜ゴム（株）のSUV・ピックアップトラック用マッドテレーンタイヤ「GEOLANDAR M/T G003（ジオランダー・エムティー・ジーゼロゼロサン）」装着車が8月13日から19日に開催されたアジア最大のクロスカントリーラリー「アジアクロスカントリーラリー2023（以下、AXCR）」で総合優勝を果たしました。また、2位、3位も「GEOLANDAR M/T G003」装着車が獲得しトップ3を独占しました。「GEOLANDAR M/T G003」装着車は昨年も総合優勝をはじめ3位、4位、5位を獲得しており、過酷なオフロードレースにおいて優れた走行性能と耐久性を改めて実証しました。

総合優勝したのは「トヨタ・フォーチュナー※」で参戦した「TOYOTA GAZOO Racing Indonesia」の#105（ドライバー：青木拓磨選手／コ・ドライバー：イッティポン・シマラックス選手／ソウウット・ダンピファトランクーン選手）です。レグ1でマシントラブルはあったものの、レグ2、レグ3で快走を見せレグ3終了時点でトップに浮上。その後はトップを譲らずにレグ5、レグ6を走り切りゴールしました。また、同チームから同じく「トヨタ・フォーチュナー」で参戦した#121（ドライバー：トゥバグス・モレンシャディ選手／コ・ドライバー：ジャトゥポーン・ブラキッパチャイ選手）が2位を獲得しました。※アジアを中心に販売されている人気のフレームタイプSUV

3位を獲得したのは三菱自動車工業（株）の新型「トライトン」（改造クロスカントリー車両）で参戦した「チーム三菱ラリーアート」の#101（ドライバー：チャヤボン・ヨーター選手／コ・ドライバー：ピーラボン・ソムバットウォン選手）です。同チームは昨年総合優勝を成し遂げており、2年連続で好成績をあげました。

横浜ゴムが供給した「GEOLANDAR M/T G003」は、あらゆるオフロード路面で高い走行性能を発揮するとともに、優れたロングライフ性能を追求し、オフロード感を強調した逞しくアグレッシブなデザインを実現しています。なお、「GEOLANDAR M/T G003」をはじめとした「GEOLANDAR」シリーズはモータースポーツで活躍しており、アジアや北米、メキシコなどの過酷なオフロードレースで輝かしい戦績を残しています。

「AXCR」は1996年からスタートしたダカールラリーと同格式で行われるFIA（国際自動車連盟）公認レース。近年はタイを出発点として、アジア各国の山岳部やジャングル、海岸、プランテーション、サーキットなどを舞台にし、毎年コース設定、通過国が変わります。今年はタイを出発点とし、ラオスまでの約2,000kmで競われました。

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR」、そして「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。その中で、2023年は「泥試合」と位置づけGEOLANDARブランドの新商品の投入、サイズ拡大を加速しています。また、モータースポーツ活動を技術開発および「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。

小原敏夫氏（「TOYOTA GAZOO Racing Indonesia Executive advisor」コメント

我々は2017年から4回AXCRに挑戦してきました。今回1,2フィニッシュしたことは本当に嬉しい限りです。この結果はドライバーの努力だけでなく、日本人、インドネシア人、タイ人の3カ国のメカニックが丸となってチームを支えてくれたことも大きいです。このチームを本当に誇りに思っています。横浜ゴムの「GEOLANDAR M/T G003」に車を支えてもらいましたが、チームドライバー全員が「信頼して走ることができた」と大変喜んでいました。

増岡浩氏（「チーム三菱ラリーアート」総監督）コメント

総合3位という結果で悔しさはありますが、3台揃ってゴールできたことは誇りに思いますし、新型「トライトン」の信頼性を皆様にご存知いただく良い機会であったと思います。今回のレースで得たノウハウを活かし、さらにチームを強化して来年は優勝を目指して頑張ります。速く、安全に確実に走行するためにはタイヤのグリップ性能と信頼性がとても重要です。今回のレースはマッドな路面と高速走行コースがありましたが、横浜ゴムの「GEOLANDAR M/T G003」は、どんな路面にも対応して確実にグリップする非常に信頼性の高いタイヤであることを実感しました。



総合優勝を果たした「トヨタ・フォーチュナー」(#105)の前でガッツポーズする青木拓磨選手(中央左)とコ・ドライバーのイッティポン・シマラックス選手(中央)、ソウウット・ダンピファトランクーン選手(中央右)



2位を獲得した「トヨタ・フォーチュナー」(#121)



3位を獲得した三菱自動車の新型「トライトン」(#101)

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株) 経営企画部 広報室 担当: 池田
TEL: 0463-63-0414 FAX: 0463-63-0552